

MGU Chapel Letter

—第 38 号 2024 年 5 月 31 日— 発行：大学宗教センター

* 2024 年度 年間聖句 *

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

マタイによる福音書 第 7 章 12 節



❖ 6 月の大学礼拝のスケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

6 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- | | | |
|---------------|------------|---------------------|
| ・ 6 月 3 日（月） | 佐藤由子 | （仙台南伝道所牧師） |
| ・ 6 月 5 日（水） | 松本周 | （一般教育部准教授） |
| ・ 6 月 7 日（金） | 栗原健 | （大学宗教センター長） |
| ・ 6 月 10 日（月） | 長尾厚志 | （仙台ホサナ教会牧師） |
| ・ 6 月 12 日（水） | 荒井偉作 | （名取教会牧師） |
| ・ 6 月 14 日（金） | 佐々木哲夫 | （学院長・理事長・宗教総主事） |
| ・ 6 月 17 日（月） | 新田恭平 | （猪苗代教会牧師） |
| ・ 6 月 19 日（水） | 平賀真理子 | （学院宗教主事） |
| ・ 6 月 21 日（金） | 清水禎文 | （教育学部教授） |
| ・ 6 月 24 日（月） | 赤井慧 | （尚綱学院中学校・高等学校聖書科主任） |
| ・ 6 月 26 日（水） | ティモシー・フェラン | （英文学科教授） |
| ・ 6 月 28 日（金） | 長谷部弘 | （学長） |

* 聖書・讃美歌をお持ちください。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp

✦ ステンドグラスの魅力 ✦

宮城学院の礼拝堂には、美しい3点の巨大なステンドグラス窓があります。これはガブリエル・ロワール（1904年～1996年）という世界的に有名なフランス人の職人が制作したもので、イエスの降誕・十字架刑・昇天のシーンを描いています。5月23日（木）に、このステンドグラスの魅力について語る間瀬幸江先生（一般教育部准教授）のワークショップが開催され、学生・教職員24名が集まりました。会場では、ロワール工房で作られたガラスのピースがお土産として渡され、盛り上がりました。



それにしても、ステンドグラスは、私たち人間という存在についても、大事なことを示してくれるように思えます。

ステンドグラスは、陽の光がささない夜に見ても美しくはありません。ガラスの上にはごちゃごちゃした線が重なり合っているだけで、何が描かれているのか分かりません。しかし、外から陽光が入るとガラスはさん然と輝き出し、描かれている場面が分かるようになります。

私たちの人生も、一見すると、意味の無い出来事がごちゃごちゃと積み重なっているだけのように思えます。自分が願っているように生きられず、時間を無駄に過ごしているだけのように感じるかも知れません。他の人が自分よりも充実した、実り豊かな生き方をしているように思えてしまい、悲しくなることもあるでしょう。

けれども、私たちが聖書を開いて神の愛を知り、自分も大切な価値ある存在とされていることを知る時、自分の人生も、決してただの無意味な事柄の集まりではなかったことが見えて来ます。さまざまな出会いや経験、恥ずかしい失敗でさえも、実は大きな絵の一部であったことが感じられるようになるのです。「すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。明らかにされるものはみな、光となるのです」（エフェソの信徒への手紙5章13-14節）という聖書の言葉が、リアルに迫って来ます。

その絵の全体像が何なのかは、私たちにも分からないかも知れません。けれども、それが意味の無いものではないと知るだけでも、私たちの人生のイメージは変わって来ます。聖書を読み、礼拝に参加することは、このように新たな目で自分を見ることにつながって行くのです。大学生活の中で、こうした時間を大切にしましょう。（栗）